

学校経営の基盤

- (1) 公教育の立場を踏まえて
日本国憲法・教育基本法・学校教育法等諸法令
全体の奉仕者としての自覚と責任感、使命感を持つ。
- (2) 時代の要請に応える、新しい学校教育の創造を
時代を見極め、新しい要請に応える教育を行う。
チーム木屋瀬⇒全教職員が子どものため結束・協力する。
教育課題への対応⇒アクションプランで学力・体力向上
働き方改革⇒思い切った業務改善の実施、残業時間減の工夫
学級担任を一人ぼっちにしないチーム力
- (3) 新学習指導要領への対応
新学習指導要領の移行内容を落とさず習得させる。
外国語教育・特別な教科道徳・への対応
プログラミング教育・防災教育への対応

学校教育目標

自ら考え 心豊かで たくましい子どもの育成

3つの大きな柱

「知」習得と活用・探究 「徳」豊かな心・社会力 「体」健康・安全・精神力

30年度重点目標 << 未来が求める今を大切に作るチーム >>

時間はいのち・共通理解がチームの証
少しを・次々と・時間内に

自信をつける
習得と繰り返し

未来を見せる
今求められることは？

環境を整える
パワーの源を準備

子ども・保護者・地域・教師の願い

- (保) 毎日学校に喜んで行ってほしい。
- (保) 友だちと仲良く、元気に明るく過ごしてほしい。
- (子) 分かってほしい・できるようにになりたい。
- (子) 褒められたい、認めてもらいたい。
- (地) 挨拶ができ一生懸命働く子になってほしい。
- (地) 地域を愛し、地域を大切に子どもに育ててほしい。
- (教) 自分の良さを知り、自信をもって未来を歩んでほしい
- (教) 学ぶ楽しさや働く喜びを知り自己研鑽に励んでほしい。

校区の特性

- 江戸時代に長崎街道の宿場町として栄えた木屋瀬宿があり、木屋瀬宿には古くから残る建物や文化がたくさんある。
- 住宅地でありながらも、豊かな自然に囲まれている。そばに遠賀川、笹尾川、黒川が流れ、校内に昆虫や野鳥が姿を見せる。

「あきらめない」 << かくれた力を引き出す >> 「できるを重ねる」

自信をつける 【少しを・次々と・時間内に】

- ① 子どもの未来を見る
 - ・今の教育で本当に良いのか。
 - ・安易に時間内に終わるべき練習問題を宿題にしていないか。
 - ・黒板を写すだけのノートになっていないか。
 - ・教師や一児童の考えの説明の時間が多すぎないか。
 - ・自分の考えや振り返りを書くのも時間内に終わっているか。
- ② 授業改革 45分間一本勝負（のんびり授業からの脱却）
 - ・5分刻みの「45分間プラン」を作る。
 - ・教科書の指導書の板書をあてにせず、自分で考える。
 - ① 前時の学習内容を反復復習する。⇒自信①
 - ② 2つのモノを比較して視覚的に比べて見せる。（2点比較提示）
 - ③ 分からないこと、できないことを明確にして「めあて」を立てる。
 - ④ ①を元に分かる・できる方法を考える。（書く活動）⇒小集団討議
 - ⑤ 調べる方法を確認し追究する。
 - ⑥ 結果を見せ合う。⇒並べて見せて比べられるようにする。
 - ⑦ 結果を比べ、共通点でまとめる。（めあての言葉を使いまとめる）
 - ⑧ 練習問題・応用問題を行う。⇒自信②
 - ⑨ 自分の考えと結果を比べ自分の変容を振り返る。⇒自信③
 - ・どこを減らせば⑨まで行くのか常にダイエットする。
 - ・全員の子どもに集中させるには、常に緊張感を与えること。
- ③ 「分かる・できる」を実感できる学習
 - ・繰り返さないと身に付かない。
 - ・時間指定のミニテストで自信を深める。
 - ・学習後の振り返りで価値づける⇒評価の工夫
- ④ 補充の時間を大切に
 - ・ひまわり学数塾月・木曜日 15:55~16:40

未来が求める今養うべき力 【高校入試に向かう力は小学校で】

- ① 目標を持ち、目標に向かう力。
 - ・学校目標⇒学年目標⇒学級目標を、教師と子どもが共有する。
 - ・行事に向かう意味・取り組み方を共有し、毎時間振り返る。
 - ・単元ごと1時間ごと、学習の意味と方法を見直し、振り返る。
- ② 仲間をつくる挨拶の力（木屋瀬中学校区の目標～あいさつ日本一）
 - ・「おかめ」のあいさつ（大きな声で、体を起こして、目を見て）
 - ・いつ・どこで・どのように（学校で・廊下や外で・おかめのあいさつで）
 - ・教師も保護者やお世話になった方に（送るとき・玄関で・出るまで）
 - ・教師や上級生が手本を示す。すべての子どもに回答する。
- ③ 仲間を育てる言葉の力
 - ：どうぞ、ありがとう、すごい、やるね、助かる、大丈夫？
 - ×：うざい、きもい、むかつく、死ね、チビ、ばか、デブ
 - ・相手に応じた言葉づかいができる。
 - ・時と場に応じた言葉づかいができる。
- ④ 社会性を養う奉仕の心
 - ・掃除の意味と仕方を教える。（掃き方・拭き方・順序・割当て方）
 - ・モクモクデー…木曜日は黙って掃除をする。
 - ・奉仕に対して、認められる場、感謝される場を設けたい。
- ⑤ 読み・書き・計算ができなくて中学校が楽しいだろうか
 - ・小学校の学習ができなければ中学校の学習はできない。
 - ・私たちがあきらめたらそれ以上伸びることはない。
 - ・困難から逃げず、立ち向かう姿を我々教師集団が子どもたちに見せつけよう。
- ⑥ さらに長文読解力、論旨の通った記述力育成までハードルが上がった。
 - ・子どもと目標を共有する。⇒学力調査対策時間を共有
 - ・スキマ時間を活用し読書に取組ませる。

環境を整える 【誰もが「少し」にこだわり徹底する】

- ① 学習ルールを身につけさせる。【木屋瀬中学校区授業5則】
 - ① チャイムで始め、チャイムで終わる
 - ② 礼に始まり礼に終わる
 - ③ 自分で行う準備と片付け
 - ④ 机をそろえ、姿勢を正しくする
 - ⑤ 相手を見て最後まで話を聞く。
- ② 「対人スキルアップの視点」で心の安定を図る。
 - ・日常的な活動（朝や帰りの会など）と日々の授業の中で取組む。
 - ・「対人スキルアッププログラム」を参考に、プログラム授業を実施。
- ③ トラブルを避ける学習環境を作る。
 - ・教室環境をスッキリして情報を減らし、視覚的な指示を行う。
 - ・「何を・どのように」するのか手順と方法を明確に。
- ④ 保護者との結びつきの強化
 - ・定期的な「生活がんばりカード」の導入で生活習慣の改善
 - ・早寝・早起・朝食、家庭学習、読書、スマホ・ゲーム・TVの時間、準備など
 - ・何も無いとき褒めると共感で関係づくり、トラブル時は早期対応が肝。
- ⑤ 木屋瀬中学校区小中一環連携教育の推進
 - 学力向上（学習ルール）○生徒指導（生活ルール）○人権教育（家庭学習の手引き）
 - ・生徒指導上の問題は、毅然とした態度で指導 ⇒「ならぬことは、ならぬ。」
 - ・どの子にも平等、公平な指導を ⇒ 事実をしっかりとつかんだ上で指導
- ⑥ 信頼される学校づくり「綱紀粛正の徹底」
 - ・交通事故防止、飲酒運転撲滅、公金取扱（現金保管×）、情報管理
 - ・電話、外来者の対応⇒明るく元気に
 - ・トラブル発生⇒揺るぎない事実の確認・管理職連絡・チームで指導
- ⑦ ふるさと木屋瀬と子どものつながりを結ぶ。
 - ・地域人材・地域行事と子どものつながりを演出する。

「木屋瀬小学校みんなのルール」の徹底を図る。

- 健康教育の充実を図る。
 - ・8:35までに健康観察、8:40までに居所把握。
 - ・怪我は原因究明し、保護者へ当日必ず連絡する。（連絡帳は×）
 - ・怪我の病院行、病気の帰宅は管理職に必ず相談を。
 - ・不登校、無断欠席には放課後担任家庭訪問。

- 教師の働き方改革を図る。
 - ・効率的な時間運用で残業ゼロに近づける。
 - ・言うだけでなく、みなで削減できる方法を考える。
 - ・子どもに自信をつけ子どもも教師も笑顔を取り戻そう。
 - ・会議を減らす。大目標を共有すれば相互理解できるはず。

- 食育の推進を図る。
 - ・食後の歯磨き、手洗い習慣化、もう一口運動のススメ。
 - ・給食時間（12:20~13:05）13:20までには終わる工夫。
 - ・アレルギー対応おかわり禁止、食中毒、異物混入の防止（引率）。
 - ・調理や火気を使うときには管理職へ事前連絡を。